

2018年5月22日(火)

# 日刊工業新聞掲載

## 粉碎・分離回収を効率化

### 日本シームニーズ別システム展開

【さいたま】日本シーム(埼玉県川口市、

木口達也社長、048・298・7700)

砕機をベースにシステムオプションとして顧客ニーズに合致する分離機能を付与する。価格は400万~600万円。当面10システムの販売を目指す。

粗破碎の状態では粉砕機上部から吸い取り、粉砕効率のいい硬質プラは粉砕機下部からスクリーンメッシュを通して排出する仕組み。

同社では、軟質プラ製の透明な袋に入ったスプーン(硬質プラ)の処理や、ペットボトルのラベル剥離、インスタントラーメンなど各種食品と袋の分離・再利用といった用途を見込む。

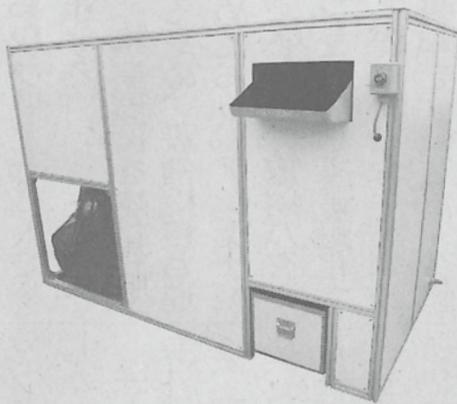
態を監視するために設けた入・出力点それぞれの水圧計のほか、濾過機構を安定運用するため、複数のモニター流量計や水量調節弁、純水度計なども装備した。宮坂社長は、「同クラスの従来品に比べ高スペックながらも、大幅な低価格を実現した」としている。装置サイズは、幅・奥行き各76センチ×高さ122センチ。筐体はステンレス製で重量は88キログラム。屋外移動に適した大型タイヤを採用した。

は、硬質・軟質の各プラスチックなど異なる素材からなるリサイクル対象物を、効率よく粉砕し分離回収できる分離機能付き粉砕システム「切りセパ」を発売した。同社の既存粉

砕機をベースにシステムオプションとして顧客ニーズに合致する分離機能を付与する。価格は400万~600万円。当面10システムの販売を目指す。

粗破碎の状態では粉砕機上部から吸い取り、粉砕効率のいい硬質プラは粉砕機下部からスクリーンメッシュを通して排出する仕組み。

同社では、軟質プラ製の透明な袋に入ったスプーン(硬質プラ)の処理や、ペットボトルのラベル剥離、インスタントラーメンなど各種食品と袋の分離・再利用といった用途を見込む。



分離機能付き粉砕システム「切りセパ」

粗破碎の状態では粉砕機上部から吸い取り、粉砕効率のいい硬質プラは粉砕機下部からスクリーンメッシュを通して排出する仕組み。

同社では、軟質プラ製の透明な袋に入ったスプーン(硬質プラ)の処理や、ペットボトルのラベル剥離、インスタントラーメンなど各種食品と袋の分離・再利用といった用途を見込む。



都市型データセンター  
さまざまな情報サービス  
提供を通じて  
お客さまのIT化を支援

三井住友銀行グループ  
さくらケーシ  
www.kcs.co.jp